

# 第9回ビキニ核被災検証会 in 幡多

主催：太平洋核被災支援センター

共催：ビキニ被災幡多の会、はた「もやい塾」

後援：高知県、高知医療生協、退婦協幡多支部  
幡多退教協、四万十市母親大会・実行委員会  
新婦人の会中村支部、脱原発四万十行動

## I. 趣旨

土佐清水市を中心とした元被災漁船員・遺族の追跡調査を実施。同時に同地域・同世代の男性との健康比較調査を行う。また、遺骨収集により、被爆との因果関係立証のための調査を実施する。

そして、四万十市で放射線専門家、医師とのシンポジウムを開催する。



元被災漁船員への聞き取り

## II. 日程・内容

1. 9月23日（土）13：30 中村サンリバー四万十集合（列車13：24 中村駅着）

14：30 土佐清水市窪津 区長場で打ち合わせ（港駐車場に駐車）

調査打ち合わせ（人数が多ければ2班に、松尾調査も）

15：00 地域調査：個別アンケート調査（窪津・原告中心）

（＊船別調査—第1 1 高知丸、第5 海福丸）

18：00 交流会（中村・居酒屋「なかひら」）

2. 9月24日（日）四万十市中央公民館・3階研修室

9：00～ 準備

10：00～12：00 シンポジウム

・DVD 映写 「被災漁船員の記録」10分

・パネラー

① 「被災漁民の健康問題」 佐沼 興一（四万十生協診療所長）

② 「ビキニ被災船の放射線被曝量の推定について」 大瀧 慈（広島大学名誉教授）

③ 「残留放射線の健康影響に関する考察—入市被ばく者のデータ解析を通して」

大谷 啓子（広島大学原爆放射線医科学研究所特別研究員）

・コーディネーター：山下 正寿

司会：上岡 橋平

大瀧先生、大谷先生、お二人とも内部被ばく研究の第一人者です。

- ・参加希望の方は右記までご連絡下さい。
- ・締め切り9月17日（日）。
- ・宿舎は各自でご手配ください。
- ・調査協力者は幡多ゼミナール館を利用ください。

太平洋核被災支援センター事務局 山下正寿  
〒788-0785 高知県宿毛市山奈町芳奈 2779-2  
TEL・Fax 0880-66-1763  
携帯 090-4973-2192  
メール masatosi.sky@orange.zero.jp